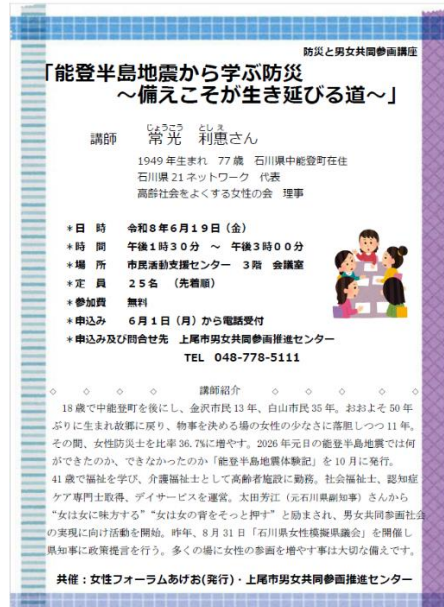


令和8年度講座等実施報告書

名 称	女性フォーラムあげお共催 防災と男女共同参画セミナー 「能登半島地震から学ぶ防災～備えこそが生き延びる道～」
目 的	多くの場に女性の参画を増やす事は大切な備えである。能登半島その後の復旧状況について実状を学ぶ。
対 象	一般
当日参加人数	21名
開催場所	上尾市民活動支援センター
日 時	令和8年6月 19日(金) 13時 30 分から 15 時 00 分
講 師	常光 利恵さん（石川21ネットワーク代表）
開催内容	・女性視点で住民の声を防災や避難所運営に反映させるにはどうしたらよいか。 ・能登半島地震の復興の現状について ・備えとは、壊れにくい家・火災の起こりにくい家・物の備え・人のつながりである。 ・住家耐震化の補助制度や耐震診断・設計・改修工事、耐震シェルター設置について ・県市町復興計画策定における策定委員会委員構成。プラン最終案までの道のりについて
参加者の声	・先生のお話はパワフルで楽しく伺うことができた。 ・防災について為になる話でした。楽しい口調で為になりました。 ・石川県からわざわざお越しになりご苦労様でした。 ・みんなで分かあうこと、自主避難所が大事ですね。 ・話を聞いて自然と涙が出てきました。能登を忘れるな。
講座の案内チラシ	 防災と男女共同参画講座 「能登半島地震から学ぶ防災 ～備えこそが生き延びる道～」 講師 常光 利恵さん 1949年生まれ 77歳 石川県中能登町在住 石川県21ネットワーク 代表 高齢社会をよくなる女性の会 理事 *日 時 令和8年6月19日(金) *時 間 午後1時30分 ～ 午後3時00分 *場 所 市民活動支援センター 3階 会議室 *定 員 25名 (先着順) *参加費 無料 *申込み 6月1日(月)から電話受付 *申込み及び問合せ先 上尾市男女共同参画推進センター TEL 048-778-5111 講師紹介 18歳で中能登町を後にし、金沢市民13年、白山市民35年。およそ50年 ぶりに生まれ故郷に戻り、物事を決める場の女性の少なさに落胆しつつ11年。 その間、女性防災士を比率36.7%に増やす。2026年元日の能登半島地震では何 ができたのか、できなかったのか「能登半島地震体験記」を10月に発行。 41歳で福祉を学び、介護福祉士として高齢者施設に勤務。社会福祉士、認知症 ケア専門士取得。デイサービス運営。太田芳江（元石川県知事）さんから “女は女に味方する”“女は女の背をそっと押す”と励まされ、男女共同参画社会 の実現に向け活動を開始。昨年、8月31日「石川県女性協議会」を開催し 県知事に政策提言を行う。多くの場に女性の参画を増やす事は大切な備えです。 共催：女性フォーラムあげお(発行)・上尾市男女共同参画推進センター